

富岡町除染検証委員会（2回）議事要旨

日時：平成27年10月13日（火）14:50～16:50

場所：富岡町役場(保健センター) 会議室

出席委員：河津委員長、石田副委員長、飯本委員、井上委員

欠席委員：藤田委員

配布資料：

議事次第

委員名簿

資料1 富岡町除染検証委員会(第1回)議事要旨【富岡町】

資料2 富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン ～復興拠点整備計画～【富岡町】

資料3 富岡町における除染の効果【環境省】

資料4 ガンマ線可視化カメラの撮影結果について【株式会社千代田テクノル】

資料5 富岡町除染検証委員会にご検討いただきたい事項【富岡町】

資料6 富岡町除染検証委員会スケジュール【富岡町】

※検証委員会に先立ち、現地視察を実施(13:00～14:30)

○宮本町長あいさつ

○河津委員長あいさつ

○委員紹介

○議事：

1. 前回検討事項の確認(第1回議事要旨)について(資料1)

(ア)事務局より、資料1に基づき説明がなされた。

2. 富岡町再生・発展の先駆けアクションプランについて(資料2)

(ア)事務局より、資料2に基づき説明がなされた。以下、議論された内容の概要。

① 町内に交流サロンを設置されるとのことだが、帰還に向けて住民の皆さんの不安を解消するために、福島市にある除染情報プラザのような放射線や除染に関する情報を発信できる機能を持った場所をつくってほしい。

⇒ 構想段階ではあるが、サロンとは別に環境省で同じようなものを検討中と聞いている。

⇒ 現状では、各JVが富岡町内に住民の方が立ち寄れる情報発信スペースを設けている。

② 除染の進捗の部分で“対象外”とあるが、どのような箇所が対象外なのか。

⇒ 生活圏から20m以外の森林、第二原発、ゴルフ場などである。

③ 委員会では、ここで対象となっているエリアのみを検証していくのか。

⇒ “対象外”となっているエリアも含めた町全域が検証の対象である。

④ アクションプランについて、今後、具体化してくると町民からの意見がたくさん出て

くと思うので、それらを吸い上げる仕組みを作ってほしい。また、その中で除染に関する話があれば、検証委員会にあげてほしい。

3. 富岡町における除染の効果について（資料3）

(ア)環境省より、資料3に基づき説明がなされた。以下、議論された内容の概要。

① それぞれの宅地の除染結果について、所有者への報告はしていると思うが、それらのデータを町に提供することは考えていないのか。

⇒ 除染が完了した宅地では所有者への報告は行っているが、現時点で町への報告は行っていない。

⇒ 全てのデータを検証委員会で見るとは難しいが、町の調査で気になることがあった場合に、環境省のデータを見られるようにしておく必要はあるのではないかと。

② 森林以外で進捗の分母となるデータが変わることはあるか。

⇒ 除染工事が終了し数量を出すと少し変わるかもしれないが、森林ほど大きく変わることはない。

③ 除染の品質管理について、除染工事と同じメンバーで行っているのか、別のメンバーがチェックしているのか。

⇒ 監督職員がチェックを行っている。

④ 町内3つの工区について、それぞれ別個のJVによる除染工事が行われているとのことだが、工事のスペックは同じなのか。

⇒ 工区で平均的な線量が異なるため、当初の標準手法に追加するなど、線量に応じた除染工事を実施しており、方法が全て同じではない。また、各JVの施工に際しての工夫という面では違いがあるが、仕上がりに大きく違いがでないように指導は行っている。

⑤ 除染工事は目標数値を設定して行っているのか。

⇒ それぞれ試験施工を実施して効果が確認された手法で進めている。

⑥ 森林の除染ではリター部までとっているのか。また、どのように評価を行っているのか。

⇒ リター部^{注)}までとるが流出の危険等もあるので土を削ることはしていない。線量の評価については生活圏の森林との境界部において評価を行っている。

注) 新鮮な落ち葉などが堆積している層

※補足：森林のモニタリングについては林縁部50m毎の測定点の他に、生活圏から10mの林内にも50m毎に測定点を設けている。

4. ガンマ線可視化カメラの撮影結果について(中間報告)（資料4）

(ア)富岡町からガンマ線可視化カメラによる調査業務を受託している株式会社千代田テクノルより、資料4に基づき説明がなされた。以下、議論された内容の概要。

① 環境省においても除染後に事後モニタリングを行うということだが、ガンマ線可視化カメラを用いた調査の位置づけはどのように考えているのか。

⇒ 町として環境省が進めてきた除染の効果を検証するために、環境省のモニタリングと

は別に実施するものである。

② 誰のための報告書なのか。住民に報告するためか、町として情報を得るためか。

⇒ 両方と考えている。

⇒ 町として情報を集め、記録するためであれば、高さの情報や、それぞれのデータをどの機器で測定したのかの情報を記載すべきである。また、空間線量率の測定について、相対的に高くなっていない箇所でも行ったほうが良い。

③ データの見せ方をうまくしないと、一般の人は赤い箇所があると大変だということになってしまう。

⇒ 一枚目に報告書の見方をつけている。

⇒ 人の写り込みが無いよう注意が必要である。

④ 「報告書の読み方(案)」の書き方については、もう少し議論した方がよい。

⇒ 専門家ではない方に見ていただき、理解できるか確認するとよい。

⇒ 距離など色々な要素もあるので、それらの注釈も必要。

⑤ 相対的に高いところを全て赤くするのではなく、直接測定した空間線量をもとに色を変えることはできないのか。

⇒ それは技術的に難しい。

⑥ ガンマ線可視化カメラでの測定と併せて実施する空間線量測定について、メッシュ的に全面を行うのは時間がかかりすぎてしまうのではないか。

⇒ ガンマ線可視化カメラの測定には時間がかかるので、その待ち時間に測定可能なのではないか。

⇒ 町としても面的に測定したいと考えている。空間線量測定について、参考値という取扱であれば、測定箇所数を増やし、1地点5回にとらわれなくても良いと考える。

⑦ 住民からの測定要望があった場合は対応するのか。

⇒ 現在、役場に測定の要望等が入った場合は環境省の担当と同行し、現地での測定を行っている。

⇒ 今回の測定前に確認しておけば、二度手間は無くなるのではないか。

⑧ 作業する側から何か確認しておきたい事項はないか。

⇒ 撮影した写真は平面の方が分かりやすいが魚眼の方が視野を広くとれるがどちらが良いか。一覧表も全地点まとめたものも作成したが、個別に示した方が分かりやすいと思っている。

⇒ 一覧表は、まとめた方が分かりやすい。

⑨ 住民の方は地面だけを気にされているわけではないので、その点を考慮して進めてほしい。

⑩ 本日頂いたご意見を踏まえ、事務局として案を作ります。

5. 本委員会にご検討いただきたい事項について (資料5)

(ア)事務局より、資料5に基づき説明がなされた。以下、議論された内容の概要。

① 現地視察の際にも話しが出たが、居住制限区域と帰還困難区域の境界部の除染について、林縁20mの考えに準じて検討すべきではないか。それについて公式見解は出ている

のか。

⇒ 初めに富岡町の除染計画を策定した際に、帰還困難区域については除染の対象外で、取扱いについては別途、検討を進めることとなっている。現在、環境省も含めた関係機関で検討中である。

② どこに原因があるのかを確認することが重要である。表面の線量が落ちていないのか、周辺からの影響を受けているのか。必要であれば表面の土のベクレルを見ることも有効である。

③ 宅地については当然議論していくことになるが、農地や道路などについて、データをもとに検証委員会で検証することはあるのか。

⇒ 農家のかたは空間線量だけではなくベクレルを気にされているが、それについて具体的な検証は難しいと考えており、検証委員会では宅地について検証をお願いしたいと考えている。

④ 透水性舗装が影響していると感じた。

⇒ 透水性舗装については通常の高圧水洗浄ができないため既にショットブラスト等で除染しており、現状では次の対策が無い状況である。

⇒ 何かで被覆して遮蔽することはできないのか。

⇒ 常磐道の再舗装など、公共事業的なものと連携して行った事例はあるが、環境省の事業の中で被覆のみによる遮蔽は実績がないため、検討しないと回答することはできない。

⇒ 検討する価値はあると思う。また、透水性舗装でも場所によって線量が低いところもあったので、そのあたりも考慮して進めてほしい。

⑤ 路肩の除染は行うのか。

⇒ 植樹帯については方針が決まらず未実施であった。これから除染を実施するので、その結果をみて検討いただきたい。

⑥ 局所的に高いところについては、今後、ガンマ線可視化カメラの結果等、個別にデータを見ながら検討していけば良い。

⑦ 帰還困難区域との境界については、住民感情も考慮して進めてほしい。

⇒ ある程度の緩衝地帯が必要ではないか。

6. 次回日程について（資料6）

（ア）時間の都合で資料6の説明は割愛された。以下、質問の概要。

① 次回委員会で町長への中間報告を作成するのか。

⇒ 今回の議論の結果を事務局でまとめて事前に先生方にご確認いただく形で進めたいが、間に合わなければ年明けに対応する。

7. その他

（ア）次回の開催日時については12月中旬を予定し、事務局から各委員の予定をなるべく早く確認させて頂いたうえで決める。

以上